



UN  
DP

Empowered lives.  
Resilient nations.

CLEAN WATER.

国連開発計画(UNDP)は、国連システムの中核的な開発機関として1966年に設立されました。貧困の撲滅と、不平等と排除の是正を同時に達成するために、持続可能な開発、民主的ガバナンスと平和構築、気候変動対策と強靱な社会の構築、の3つを重点分野に掲げ、約170の国で活動。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みをしています。

紺野美沙子UNDP親善大使は、2016年8月、第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)を前にケニアの開発現場を視察しました。UNDPと日本の民間企業が協働で行う、浄水・農業振興プロジェクト現場を訪れました。

紺野さんは「日本の浄水技術により安心・安全な水が飲めるだけでなく、水の販売や伝統野菜の栽培をして現金収入を得ることができるようになったこと、地域の人々にとって持続可能な収入の道ができたこと、片道4キロの水汲みの必要もなくなり、親が子ども達と過ごせる時間が生まれたこと、病院にいけるようになったことなど様々な変化が起きていました。そして、地域の人達に大きな希望が生まれていたことを目の当たりにしました」と語っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
2016年9月20日国連総会採択

